



津幡南中だより

津幡町立津幡南中学校

校長 塚田 秀和 TEL288-7420

令和8年7月1日(水)

NO.4

校訓

☆燃えるような情熱

☆ひたむきな純粋さ

☆たゆみない向上心

□ 「星に願いを なりたい自分」

校長 塚田 秀和

7月の全校集会での話です。

7日は七夕です。短冊に願い事を書いたことがある人も多いでしょう。また、「流れ星に願い事を3回唱えたと叶う」と聞いたことがある人もいると思います。その理由を調べてみると、古くヨーロッパでは、空には神様がいて、時々下界の様子を確かめるためにそっとのぞくと考えられていたそうです。そのときに漏れる光が流れ星です。だから、その瞬間に願い事を口にすると、その声が神様に届き、願い事が叶うと信じられてきました。

ちなみに、今の私の願いは「生きている間に宇宙から地球を見ること」です。

皆さんは、「言霊（ことだま）」という言葉聞いたことがあるでしょうか。言霊とは、古代の日本で「言葉には不思議な力が宿っている」と信じられていた考え方です。発した言葉どおりの結果を引き寄せる力があるとされていました。

つらいときには「弱音を吐く」と言います。「吐く」という字は、口偏にプラスとマイナスが入っています。口から出る言葉には、プラスの言葉もマイナスの言葉もあります。しかし、「吐く」からマイナスを取ると「叶う」という字になります。プラスの言葉を発し続けることで、夢や目標に近づくことができるのです。

さて、皆さんはどんなプラスの言葉を発しますか。

3年生は、部活動から退く時期こそそれぞれですが、受験への切り替えが必要な時期になってきました。先月23日には進路説明会が開かれ、高校の先生方から直接話を聞く機会がありました。すでに夏休みに行われる高校の体験入学に申し込んだ人もいることでしょう。

2年生は、昨年度の「職業人に学ぶ会」などを通して、職業について学習してきました。また、先月29日には「未来への扉セミナー」が行われ、働くことについて考える機会がありました。さらに、明後日には企業訪問も予定されています。自分のキャリアや生き方について考える機会が増えてきています。また、部活動では新チームの中心としての役割が求められる時期も近づいています。

1年生は、入学して3か月が過ぎました。2回の定期テストを終え、部活動の大会も経験し、中学校生活の流れが少しずつ分かってきた頃ではないでしょうか。

そこで、今月のキーワードは、七夕にちなんで「星に願いを なりたい自分」としました。

将来の大きな夢でなくても構いません。行きたい高校、新入大会での目標、先輩として目指したい姿、生活や学習での目標など、どんなことでもよいのです。まずは、「なりたい自分」を口に出してみましょ。そして、その目標に向かって努力を重ね、一步步実現していきましょう。



★生徒指導より★

◇7月の生活目標◇

生活習慣をふりかえり 自分自身を高めよう

目標を実現する“才能”

1週間で行えることは限られています。目に見える変化はほとんどありません。
しかし、その1週間を積み重ねた1年後、変化は必ず現れます。

全校集会では、将棋界で初の全7タイトルを独占した、羽生善治さんの言葉を紹介しました。

何かに挑戦したら確実に報われるのであれば、誰でも必ず挑戦するだろう。
報われないかもしれないところで、同じ情熱、気力、モチベーションをもって
継続しているのは非常に大変なことであり、私は、それこそが才能だと思っている。

羽生善治

学習、トレーニング、競技の勉強、人との接し方、振る舞い、、、
できることを今から始めましょう。そして、それぞれの目標に近づく。
そんな夏にして欲しいと思います。

★学習指導より★

◇7月の学習目標◇

授業の学びやまとめを大事にしよう

授業 何を学ぶのかを考えながら集中して授業を受け、まとめる

家庭 復習をじっくりし、力をつける

学びがつながると“使える知識”になる

全校集会では、Appleの創業者の一人であるスティーブ・ジョブズさんの言葉を紹介しました。

点と点をつなぐことはできない。未来を見据えて点と点を結ぶことはできないのだ。
過去を振り返って、ようやく点と点がつながっていることに気づく。

スティーブ・ジョブズ

普段、勉強をされていて、勉強する意味があるのか？将来何の役に立つのか？と疑問を抱くこともあるかと思います。全ての学びがすぐに役立つわけではありません。しかし、学んだことは無駄にはならないと思います。学校では、多くの分野を学びます。授業の学びやまとめを大切に、学習を進めていくと、各分野の知識がつながり、使える知識になっていきます。1学期の授業も残り少ないですが、授業の学びやまとめを大切にしていきたいと思います。

